

W T O 農 業 委 員 会 特 別 会 合 の 結 果 概 要

平成 1 8 年 2 月
農 林 水 産 省

I. 日 時 ・ 場 所

1 月 2 3 日 (月) ～ 2 6 日 (木) 於 : ス イ ス ・ ジ ュ ネ ー ブ

II. 我 国 か ら の 出 席 者

木 下 農 林 水 産 審 議 官 、 吉 村 国 際 部 長 ほか

III. 結 果 概 要

1. 非 公 式 特 別 会 合 (全 体 会 合) (23 日 午 後)

ファルコナー議長は、4 月末までという短い時間でモダリティを確立するには、政治的意思とともに政治的判断を容易にするための技術的作業の双方が不可欠、優先的に議論すべき事項に焦点を当てて進める、また、マルチのほかにも二国間、少数国間の議論を進める必要があると発言。

各国からは、程度の差こそあれ、「香港閣僚会議は十分とはいえないもののポジティブな結果であった」、「4 月末のモダリティ確立は可能であり、これを目指して建設的に努力する用意あり」、「香港閣僚宣言で示されている優先事項から議論すべき」との発言。

2. 輸 出 競 争 ・ 国 内 支 持 に 関 す る 担 当 官 会 合 (25 日 午 前)

4 月末のモダリティ確立に向け交渉の進展を促進するため、次回会合以降、議長が事前に詳細な質問項目を用意するとともに、行われた議論を備忘録としてまとめ、モダリティの原案につなげていくこととなった。

輸出競争及び国内支持分野について優先的に検討すべき事項は何かにつき、概括的な議論を行った。

G 1 0 より、国内支持に関する提案 (別紙 1) を行い、その説明を行った。

3. 市 場 ア ク セ ス に 関 す る 担 当 官 会 合 (26 日 午 前)

G 1 0 より重要品目の取扱いに関する提案 (別紙 2) を説明。各国及び議長より、議論を進展させる素材として評価の発言。

輸出国からは、消費量を勘案する考え方を盛り込んだことに対して一定の評価がなされる一方、重要品目のアクセス改善の程度は一般品目と同等であるべき等の批判もあった。

4. 26 日 午 後 非 公 式 特 別 会 合 (全 体 会 合)

ファルコナー議長より、国内支持、市場アクセスについての議論を行ったが、特に G 1 0 の重要品目の取扱いに関する提案に基づき行われた議論は有意義であったとの

評価があった。また、ボトムアップ・アプローチ、透明性が重要であり、2月の会合に向けて事務局として議題案及び焦点を絞った質問事項を考えるとの発言があった。

5. その他

(1) G10会合の開催

農業委員会特別会合期間中、随時、G10会合を開催し、国内支持についての提案をとりまとめるとともに、重要品目の取扱い及び国内支持についての説明ぶり等を調整。

(2) G10と各国、各グループとの意見交換

G10として、EU、カナダ、G20、米国、小規模経済国グループとの間で、G10提案の説明及び今後の交渉の展望についての意見交換を行った。

(3) 我が国と各国等との意見交換

我が国として、個別に、NZ、メキシコ、インド、ブラジル、EU、カナダとの間で、香港閣僚会議の評価及び今後の交渉に臨む互いの立場についての意見交換を行った。また、ファルコナー議長と、今後の交渉の進め方や優先分野について意見交換を行った。

5. 今後の日程

2月13日（月）～17日（金） 農業委員会特別会合（ジュネーブ）（予定）

以上